

日越大学は、日本とベトナムの両政府により両国の友好と結束の象徴として設立され、2016年9月にベトナムのハノイで開校しました。現在、修士課程8専攻プログラム（地域研究[MAS]、企業管理[MBA]、気候変動・開発[MCCD]、環境工学[MEE]、グローバル・リーダーシップ[MGL]、社会基盤[MIE]、ナノテクノロジー[MNT]、公共政策[MPP]）を開講しています。2015年4月から5年にわたり実施された JICA 技術協力「日越大学修士課程設立プロジェクト」(TC1) に引き続き、本年4月からは同「日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト」(TC2) が開始されています。

また、本年から日越大学初の学士課程として日本学プログラムが開設されました。日越大学においてもコロナ禍で本邦インターンシップの延期を余儀なくされるなど大きな影響を受けていますが、これまでと同様に皆様からの温かいご支援・ご協力を賜れば幸いです。

## Top News

### 入学・開講式および学位記授与式を開催しました（11月7日）

学部生 58 名および大学院生 68 名が新たに入学し、大学院生 66 名が修士号を取得



入学・開講式の集合写真



学部新入生のダンスパフォーマンス



武部勤日越友好議連特別顧問のビデオメッセージ

日越大学（VJU）は、11月7日（土）に、学士課程第1期生の入学式および修士課程第5期生の開講式、並びに修士課程第3期生の学位記授与式を開催しました。

本年は学士課程日本学プログラムの第1期生58名と修士課程第5期生68名が新たに入学しました。

入学・開講式では、学生による歌やダンス等のパフォーマンス、奨学金授与式、新入生代表スピーチおよび来賓のスピーチが行われました。

来賓のスピーチでは、ハノイ国家大学ファム・バオ・ソン副総長のスピーチに続いて、新型コロナウイルス感染拡大の影響で来越できない来賓からビデオメッセージが寄せられました。

武部勤日越友好議連特別顧問（元自由民主党幹事長）は、「生きたままの最高芸術品としてその人生を完成させ、世界の平和と人類の繁栄のために貢献していただきたい。二度とない人生、二つとない命なので一日一日を大切に青春を謳歌し、未来を見つめて頑張ってください」と新入生を

力強く激励されました。また、早稲田大学田中愛治総長、法政大学田中優子総長から新入生に向けた祝辞が贈られました。

日越大学古田元夫学長は、「日越大学が基本的な教育理念として掲げるリベラルアーツ教育は、学習者に幅広い見識と視野を身につけさせ、大きな変化に対応する能力と、自らが課題を発見し、自ら学ぶ力など、この「羅針盤なき航海」という状況を乗り越える資質を養うものだと考えています。日越大学の学部1期生、修士5期生となられた皆さんが、日越大学を豊かにする主体となり、世界とベトナムの新しい時代を切り開き活躍をされることを期待します」と新入生を激励しました。

また、2018年に入学した修士課程第3期生の学位記授与式も同日に開催しました。

7つの修士プログラム（地域研究<MAS>、公共政策<MPP>、企業管理<MBA>、環境工学<MEE>、ナノテクノロジー<MNT>、社会基盤<MIE>、気候変動・開発<MCCD>）を修了した66名が、古田元夫学長から学位記を授与されました。

来賓のスピーチでは、ハノイ国家大学グエン・ホアン・ハイ副総長、山田滝雄駐ベトナム日本国特命全権大使、企業からはCONINCOハ・ミン社長、Zeon Research Vietnam ラ・チョン・フン社長が登壇し、日越大学および修了生に向けて祝辞が述べられました。

修了生代表スピーチでは、社会基盤プログラム第3期生のゴ・ディン・ダさんが「私は、2年前に日越大学で学ぶ決断をしたことを今誇りに思います。ベトナム、日本、そして世界各国の素晴らしい先生方や友人たちから豊富な知識や経験を学び、そして、日越大学では愛のある美しい思い出がたくさんできました」と2年間の大学生活を振り返りました。

古田元夫学長は、「皆さんが2023年の日越国交樹立50周年に向け、両国民を結びつける大使となり、日本とベトナム双方の文化的価値と精神を体現する模範となってほしい」と修了生に対する期待を述べ、留学生として初めての修了生となる学生に対しては「皆さんは、きっと、大きなプレッシャーがあったと思いますが、奮闘して困難を乗り越え、修士の学位を獲得し、日越大学の多文化環境、（日越大学という）花壇をより豊富にするのに貢献しました」とその努力を讃えました。



学位記授与式の集合写真

## 武部勤日越友好議連特別顧問が日越大学を訪問しました（11月27日）

11月27日、武部勤日越友好議連特別顧問が日越大学を訪問し、学士課程日本学プログラムの新入生10名との座談会に出席されました。座談会には、トー・ファイ・ルア越日友好協会会長、日越大学古田元夫学長およびグエン・ホアン・オアイン副学長が同席されました。

会の冒頭、武部特別顧問は、「トー・ファイ・ルア越日友好協会会長と共にベトナムの若者たちの未来に繋がる人材開発を両国政府に働きかけ、「日越大学構想」がスタートしました。」と大学の設立経緯について説明された後、「そして、今年、学部が開設され、皆さんが日越大学の第1期生として日本学を学ぶことになりました。おめでとうございます。」とお祝いの言葉を述べられました。

学生は、それぞれ流暢な日本語で日越大学を選んだ動機や将来の抱負を述べました。日本留学の経験があるグエン・フオン・タオさんは、「日本から帰国した後、日本語を教えていました。よい先生になるために大学に入るべきと考え、同い年の友達が大学を卒業する年に進学することを決意しました。日越大学修士課程を卒業した上司の勧めがあり、教養教育に魅力を感じたので、日越大学のみ受験しました。」と入学の動機を紹介しました。

座談会は終始話が尽きることなく、和やかな雰囲気の中、幕を閉じました。



集合写真



グエン・フオン・タオさんの自己紹介の様子

## 日越大学は“Meet JAPAN”に参加しました（11月25日）

11月25日、ベトナム外務省においてベトナム地方省・市と日本との交流促進を目的とする「Meet Japan 2020」が開催されました。4回目となる本年は初のハノイ市開催となり、多くの参加者を得てセミナーや交流会が実施されました。

今回の“Meet Japan”には、日本大使館の支援により日越大学として初めてブースを出展しました。日越大学の紹介ビデオを流すブースには沢山の参加者が訪れ、学部や大学院のパンフレットを手に取りながら、日越大学の教育プログラムについて多くの質問が寄せられました。

また、大学からは古田学長が人材育成等のセミナーに参加するとともにフート省、ダクノン省の大学と今後の協力について懇談しました。



日越大学ブースの様子

## 11月のトピック日越大学ニュース：



### 【第5回日越大学理事会を開催】

新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期されていた日越大学理事会（第5回）が、11月6日午後の日越大学にて開催されました。

今回は、19名の理事のうち10名がオンサイト、5名が東京会場（JICA本部）などからオンラインで出席しました。

まず「理事の任免」について審議が行われ、提案通り全員一致で承認され、新たに山田滝男駐ベトナム日本国特命全権大使、竹原玲児経団連国際協力本部長が理事に就任されました。

次いで「2025年までの日越大学の発展戦略と2035年に向けてのビジョン、2025年までの教育分野計画」について、古田元夫学長がスライド資料を用いて説明し、各理事から意見が述べられました。また、日越大学副学長候補者1名について意見が交わされ、全員一致により承認されました。



中央：グエン・キム・ソン日越大学理事長（ハノイ国家大学総長）

### 【水俣高校とのオンライン学生交流プログラムを実施】

11月6日、熊本県水俣市の産学官民連携推進施設である水俣環境アカデミアおよび水俣市のスーパーグローバルハイスクール・水俣高等学校とのオンライン学生交流会を開催しました。

水俣環境アカデミアは、日越大学の環境工学プログラムと以前から深いつながりを持ち、昨年度、水俣市を中心に実施された「さくらサイエンスプログラム」では、日越大学の学生2名と専任教員1名を1週間のインターンシップに招待いただきました。

交流会では、はじめに、水俣環境アカデミアの古賀所長より、水俣市の紹介や環境問題への取り組みについてご説明いただいた後、水俣高校の生徒が英語で学校紹介を行いました。

学生同士の英語と日本語を交えてのフリートークでは、日越大学の学生から事前に調べた水俣病について、「水俣市ではどのように克服してきましたか」といった質問が出されました。他にも日本のお勧めの場所や好きなアニメなど共通する興味のある分野について会話を楽しみました。

参加した学部新生からは、「同年代の制服を着た日本の高校生との交流は、非常に興味深いものだった」といった声が聞かれました。



水俣高校の教室と日越大学の教室をオンラインでつないでの交流プログラム

水俣高校とのオンライン交流会は、今後も継続して行う予定です。次回は、日越大学の学生が、日本語でプレゼンテーションを行います。

## 【法政大学とのオンライン学生交流プログラムを実施】

11月11日、第3回目となる法政大学とのオンライン交流会を開催しました。

今回は、日本語での会話を目的としており、日本語初級クラスから上級クラスの学生が参加しました。覚えてたの日本語を駆使して「好きなアニメ・映画・ドラマ」をテーマにグループに分かれて会話をしました。

法政大学の学生がゆっくり話したり、時には英語を交えたりして会話をサポートしながら、学生たちは交流を楽しみました。交流会の終わりには、各グループが今回のトークセッションの内容を発表しました。

本学の学部生は、10月下旬から日本語の授業が始まったばかりということもあり、特に初級レベルの学生は、はじめは日本語でのコミュニケーションに難しさや恥ずかしさを覚えていましたが、法政大学のみなさんの優しい対応のおかげで、今回の交流が今後の日本語学習に向けて良い刺激となりました。

協定校である法政大学とは、今後もさまざまなオンライン交流プログラムを計画しており、12月には、日越中韓4カ国の大学をつないだオンライン交流会を予定しています。



参加者集合写真



それぞれ PC やスマホを利用して参加

## 【ベトナム「教師の日」のイベント開催】

11月20日はベトナムの「教師の日」です。日越大学は、「教師の日」に因んだイベントを11月19日に開催しました。

イベントでは、よさこいダンスや合唱など60名以上の学生による様々なパフォーマンスが披露されました。新入生からは、「日越大学が幸せの中で発展することを願っています」というメッセージとともに幸福の木が古田学長に贈呈されました。修了生からもビデオメッセージが届き、お世話になった先生方へ感謝の意が示されました。



よさこいダンスを踊る学生



幸福の木を贈る公共政策プログラムの新入生



教師の日の記念撮影



## 修士プログラムニュース：

### 【環境工学プログラム (MEE)：修了生による国際学会での発表】

11月8日、9日に実施された国際学会”The Water and Environment Technology Conference Online 2020 (WET2020-online)”にて、今期の MEE 修了生 (3 期生) 3 名がオンライン発表を行いました。

この学会は、口頭での概要説明とポスター発表が組み合わされたハイブリッド形式で行われました。特にブレイクアウトルームでの個別ディスカッションでは、とても活発な討議がなされました。この発表会を通じて、MEE 修了生のミー・ハン (My Hanh) さんが **Excellent Presentation Award** を受賞しました。発表者の3名は、いずれも日本への留学を予定 (新型コロナウイルスのため来年渡日予定) しており、その他の修了生を含めて今後の大きな飛躍が期待されています。今後も MEE 学生が学外で積極的に研究成果を発信できるよう、様々な取組みに挑戦していきたいと思っております。

- (1) Thi My Hanh VU and Ikuro KASUGA (2020) Transmission of colistin resistance gene from water to aquatic vegetables due to untreated wastewater reuse for irrigation in Hanoi, Vietnam.
- (2) Thi An Hang NGUYEN, Thi Van LE, Keisuke SATO, and Seiji HASHIMOTO (2020) Potential of the mixture of coal slag and calcined ferralsols as the wetland substrate to enhance phosphorus removal from wastewater.
- (3) Chinh Thi Kieu PHAM, Keisuke SATO, and Satoshi SODA (2020) Enhanced nutrient removal from anaerobically digested swine wastewater using lab-scale hybrid constructed wetlands with foamed waste glass and external carbon source.



MEE オフィス前に掲示された WET2020 での発表ポスター

### 【企業管理プログラム (MBA)：企業訪問 (ロイジェントパークス・ハノイ)】

11月16日、MBA は、大和ハウス工業株式会社と大成建設株式会社による合弁会社 DT デベロップメント・ベトナムが運営する利便性の高いホテル機能を兼ね備えたサービスアパートメント「ロイジェントパークス・ハノイ」を訪問しました。

ロイジェントパークス・ハノイの客室や設備の見学では、日本スタイルの室内デザインや大浴場等ベトナムでは見慣れないものが多くあり、興味津々な学生からの様々な質問に対し、日本の文化・習慣の説明を交えながら日本とベトナムの設備の違いについてお答えいただきました。

次に、ロイジェントパークス・ハノイ代表の助川浩一氏および各部署の担当者から、仕事内容、お客様との関係、他の部署との連携について詳しく説明していただき、その中で、日本の「おもてなし」についても解説していただきました。すべての部署が強い責任感と高いプロ意識を持って取り組まれていることに、学生は感銘を受けた様子でした。

今回の企業訪問では、同社の職員であり、日越大学の現役の大学院生でもあるグエン・ミン・

フォンさん（グローバルリーダーシッププログラム：MGL）が施設案内や Sales Department の説明を行いました。MBA の学生にとっては、同期のプロフェッショナルな働きぶりも見られる稀有な機会になりました。



ロイジェントパークス・ハノイの皆さまと MBA の学生たち



施設を紹介する MGL のグエン・ミン・フォンさん（右から 2 番目）と質問する MBA の学生

ロイジェントパークス・ハノイのウェブページに MBA 企業見学の記事が掲載されました。是非、ご覧ください。<https://hanoi.roygentparks.com/news/p1356/>

### 【気候変動・開発プログラム（MCCD）：気候変動調査実習】

MCCD では、昨年度から引き続き、気候変動調査実習をベトナム中部地方で実施しています。特に今年は、例年よりも台風・熱帯低気圧の影響による甚大な被害が同地域で発生していることから、異常気象災害についても大きなテーマの柱となりました。

実習期間中、茨城大学主催の国際ワークショップ “International Seminar for Climate Change Adaptation Program: Sharing interlocal adaptation lessons” に実習現場からオンラインで参加しました。

MCCD は、学生特別セッション “Fieldwork the LIVE” を企画しました。現場で調査に励む学生達と 8 か国のワークショップ参加者を双方向オンラインで繋げるという試みです。現地の住民も、学生による通訳を介しながら、各国の研究者との対話に加わりました。

この企画によって、現場から臨場感のある問題提起ができただけでなく、オンラインで実施されるワークショップの新たな可能性を広げたとして、参加者から極めて高い評価をいただきました。そして、学生達にとっては、大きな自信になりました。



オンライン・フィールドワークの様子



## 【インターンシップについて】

ベトナム国内でのインターンシップが、いよいよ始まりました！  
プログラム別にインターンシップ活動をご紹介します。

### 地域研究プログラム[MAS]

MAS の学生は、主に修士論文の研究テーマに沿ったインターンシップ活動をしています。その中で、ベトナム研究の学生 1 名と日本研究の学生 1 名の計 2 名が、12 月から JICA ハノイ事務所  
でインターンとして受け入れていただき、事務所内での様々な作業のほか、現在進行中のプロ  
ジェクトなどに参加させて頂く予定です。

それに先駆けて、先日の 11 月 16 日、17 日の 2 日間、JICA ハノイ事務所が実施している草の  
根・人間の安全保障無償資金協力の「フエ省アルオイホンハー村少数民族地域における農林業生  
産研修場及び災害時に避難所となるラーニングセンターの建設事業」の視察に、両名が参加させ  
て頂きました。この視察では、ホンハー村の現地視察やその代表者とのミーティング、また同村  
にて 2007 年に JICA の支援により建設されたコミュニティハウスの現状の視察に同行させて頂  
き、住民の方々との意見交換にも同席させてもらいました。これらを通じて学生たちは、現地  
における少数民族の現状把握と、現地的心声を直接に聞くことの重要性を実感することができ  
たようです。こうした視点は、学問としての地域研究の基本的スタンスであり、学生たちの学びは非常  
に大きかったのではないかと思います。2 名には、12 月から始まる本格的な活動を通じて、スタ  
ッフの皆さんからのご指導を頂きながら、知識をさらに習得し、修士論文研究だけではなく、異  
文化理解のために必要な姿勢も学んでいってほしいと期待しています。頑張れ！

### 企業管理プログラム[MBA]

MBA の 4 期生は、10 月 12 日から 15 日にかけて、インターンシップ活動の一環としてホーチ  
ミン市でのフィールドトリップを行いました。

今回は、マーケットリサーチの INTAGE VIETNAM LLC、今年ハノイ店が開店した UNIQLO VIETNAM、  
ベトナム総合人材サービス最大手の Navigos Group Vietnam JSC、オフィスツールサービスの  
rakumo 株式会社、そして、ベトナム証券会社 Long Viet Securities を訪問させていただきました。

各分野で優れた企業を訪問し、社内見学、企業理念や各部署の業務内容を伺えたことは、学生  
にとって、研究だけでなく将来のキャリアを考える上でも非常に貴重な経験になりました。



INTAGE VIETNAM LLC での企業説明の様子



rakumo を訪問

ハノイ近郊でのフィールドトリップでは、11 月 3 日、フンイエン省にある ACECOOK VIETNAM を

訪問しました。ACECOOK のスローガン「Cook happiness」の3H（スリー・ハピネス）「常にお客様と従業員、そして社会に満足感、幸福感、安心感をもたらす」ための取組みについて紹介していただきました。工場見学では、白いユニフォーム、靴、ヘッドウェア、マスクの着用が義務づけられており、クリーンエリアでの衣服の埃の除去や入念な手洗い等徹底された衛生管理を見学することができました。

11月9日、ビンフック省にある Honda Vietnam 工場とディーラーを訪問しました。CR-V の組立工程や品質管理、テストコースでの試運転を見学し、会社の歴史や Honda Vinh Phuc の現状や課題について詳細に説明していただきました。

企業訪問を通して、学生は、これまでに学んだ理論と実際の現場を比較できる非常に有益な情報を収集することができました。



ACECOOK での企業説明の様子



Honda Vinh Phuc を見学する様子

さらに詳細な情報は MBA の web ページからご覧いただけます。 <http://mba.vju.ac.vn/>

### 公共政策プログラム [MPP]

MPP のインターンシップは、①ベトナム国内企業での研修、②JICA 専門家によるセミナー、③学外講師による講演、④フィールドトリップで構成されています。

セミナーでは、公共政策の数理モデルについて、混雑現象における待ち行列モデルに関する基礎知識を学び、交通政策などを題材にした数理モデルに関する著名な論文について議論しました。

外部講師による講義では、Diplomatic Academy of Vietnam のレ・ディン・ティン (Le Dinh Tinh) 先生による講義「ドイモイ下のベトナム外交政策 (Vietnam Foreign Policy under Doi moi)」を聴講しました。

ハイフォン省でのフィールドトリップ訪問先：

1. Hai Phong Union of Science and Technology Associations
2. Vinfast Manufacturing Factory
3. Lach Huyen Port
4. Cable bridge connecting to Cat Ba Island

ハイズオン省でのフィールドトリップ訪問先：

1. Tranh Temple  
(to observe the traditional worship)



Dr. Le Dinh Tinh 先生の講義後の記念撮影

### 【インターンシップ先企業例】

- Committee for Ethnic Minority Affairs
- Institute of Social and Medical Studies (ISMS)
- Depocen
- CIEM(中央経済管理研究所)等



フィールドトリップの集合写真

### グローバルリーダーシッププログラム[MGL]

現在、MGLの2年生はインターンシップとして、早稲田大学アジア太平洋研究科のセミナーを受講しています。主な講義は、[現代日本理解演習\(E\)](#)と[日本の国際協力の経験\(E\)](#)です。

[現代日本理解演習\(E\)](#)について：

6名の早稲田大学教授が担当する日本の政治、経済、社会について理解するためのセミナーです。この演習では、「少子高齢化」「日本のアニメ文化と産業」「外国人としての日本企業での実務経験」をテーマに議論します。学生は、日本とベトナムの相互に有益な経済的パートナーシップを促進するために必要な知識と実践的なスキルを習得します。

[日本の国際協力の経験\(E\)](#)について：

早稲田大学 大学院アジア太平洋研究科の教員およびJICA職員による、日本の国際開発協力を学習するセミナーです。本セミナーでは、日本の国際開発協力の歴史をはじめ、ミレニアム開発目標(MDGs)達成のための貢献について様々な角度から分析し、議論します。また、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するための日本のポテンシャルと課題についても議論し、日本の国際協力を通して国際社会における課題や支援に関する知識と理解を深めます。

MGLのインターンシップ・プログラムは、早稲田大学 大学院アジア太平洋研究科と連携しており、学生は修士論文に必要な研究方法論および個々の研究テーマに合うゼミの講義をオンラインで受講し、それぞれの専門性を高めています。

### 環境工学プログラム[MEE]

MEEでは、ベトナム国内インターンシップとして、全員参加の共同活動(15日間)および修士研究に関連した個別活動(15日間)を実施しています。今回は、前者の「共同活動」についてご紹介します。

MEEの重要分野として「下水処理」を取上げ、その建設現場の見学会を企画しました。JICAおよびJFEエンジニアリングの方々からご協力を得て、10月9日にハノイ最大のエンサ下水処理場・建設現場を訪問し、プロジェクトの内容や最新の建設技術などを学びました。ハノイの集中型下水処理はまだまだ始まったばかりですが、学生たちは、そのスケールの大き



エンサ下水処理場・建設現場での概要説明の様子

さや自分たちが担う将来の役割に強い興味を持ち、説明に熱心に聞き入っていました。

もう一つの共同活動では、フーイエン省（中南部沿岸）にて11月22日から6日に渡りフィールドトリップを実施しました。

同省は、山と海に囲まれた自然豊かな地域です。その自然環境を体験的に学ぶとともに、開発が進む工業団地や水産加工場などの排水処理設備・環境管理技術、太陽光・水力・風力を中心とした再生可能エネルギーの開発、伝統的な生業であるエビや魚の養殖、最新の取組として漢方薬や有機野菜などの研究・生産活動、その他歴史的建造物や現地の生活環境などを視察しました。Department of Natural Resources and Environment (DONRE)の担当者から詳しい説明を受けることができ、今回が初めての同省訪問となった参加者全員にとって、「百聞は一見に如かず」の通り大変有意義な体験になりました。



Phu Yen 省・Ba Ha 水力発電所での現地見学の様子

### 気候変動・開発プログラム[MCCD]

MCCD では、現在、14名の学生が国内インターンシップを実施しています。個別の活動場所としては、日系企業、外資系企業、JICA ベトナム事務所、NGO 団体、国内研究機関等多岐にわたり、学生達は企業体験から研究まで様々な課題に取り組んでいます。

また、共通インターンシップ活動は、11月17日から26日にわたり、ベトナム中部地方クアンナム省、ダナン省およびトゥアティエン・フエ省にて気候変動野外実習を行いました。

#### 【個別インターンシップ活動先企業例】

- 日系企業 (NIINUMA VIETNAM) 3名
- 外資系企業 (DHI Vietnam) 1名
- JICA ベトナム事務所 1名
- 国内 NGO 2名
- 大学・研究機関 9名



ダナン省山中の CoTu 族の村人との合同学習会の様子



## 学生紹介：

今回は、入学式で新入生代表としてスピーチを行った学士課程日本学プログラム1期生のグエン・ハー・ミー(Nguyễn Hà My)さんをご紹介します。

私は、高校生の頃から、固有の文化と世界をリードする最先端の教育がある日本に感銘を受けてきました。そして、注意深く、創造的で効果的な働き方をする日本人と一緒に働く機会を得るために、日本語を学ぶという目標を掲げて日越大学に入学しました。

私にとって日越大学は、将来の計画や願いを実現させるための出発点です。入学してまだ1か月ですが、先生やスタッフの皆さんがとてもフレンドリーで協力的であると感じています。

私たち学生の道のりは困難ですが、目標に向かって積極的、且つ、創造的に学習や研究に取り組み、そして、常に先生や仲間、先輩方のご指導、ご協力があれば、すべての障害を克服できると信じています。私は日越大学にふさわしい学生を目指すことを約束します！



## 教員紹介：

修士課程グローバルリーダーシッププログラム(MGL)で教鞭を執るチャン・ルオン・タン(Tran Luong Thanh)先生をご紹介します。

### Background

Dr. Thanh graduated B.Sc in Economics and Finance at the University of York, England, and obtained his M.Sc in World Economy and Ph.D (dr.rer.pol) in Political Economy with the focus on Entrepreneurship and Innovation at the University of Jena, Germany.



### International experiences

Dr. Thanh has work experience at different international organizations, specifically on SMEs, entrepreneurship and digitalization policy at the OECD, trade policy and global value chains at the World Bank, and investment and credit guarantees in a German Development Bank project.



### Research and teaching

Dr. Thanh taught International Political Economy courses at the University of Jena. He is an affiliated fellow at IPAG Business School and Konrad Adenauer Stiftung, where he is a member of the Social Market Economy Graduate College. His research topic is within the domains of international political economy, entrepreneurship and innovation.

### Q : What are your hopes for the future?

I hope that Vietnam and Japan continue to cooperate and develop more. With Vietnam's emerging market and high interest rates, I think in a foreseeable future an innovation breakthrough - for example a platform of the sharing economy - will originate from here, hopefully with knowledge and technology shared by Japan.



## 人事往来

【着任】11月に新しく1名の専門家が着任しました。

フン・ドック・トゥアン Phung Duc Tuan (修士課程公共政策プログラム) :

20年間勉学と仕事で在日した後、日本とベトナムの友好の象徴でもある日越大学で働くことができ、とても嬉しく思います。微力ながら、本学の発展に貢献したいと思います。

## 今後の予定

- ◇ 12月2日 日越中韓4か国オンライン学生交流プログラム (日本語)
- ◇ 12月5日・19日・26日 機械翻訳を利用したオンライン・ワークショップ
- ◇ 12月7日 第2回法政大学職員対象オンライン・プレインターンシップ
- ◇ 12月12日 日越中韓4か国オンライン学生交流プログラム (英語)
- ◇ 12月13日 第3回法政大学職員対象オンライン・プレインターンシップ
- ◇ 12月16日 早稲田大学とのオンライン学生交流プログラム (英語)
- ◇ 2月12日～18日 ベトナムテト(旧正月) 休暇

## 日越大学の情報発信

日越大学ホームページ: <http://vju.vnu.edu.vn/>

日越大学Facebook: (ベトナム語) <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>  
(日本語) <https://www.facebook.com/jicavju/>

JICAホームページ: <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/057/newsletter/index.html>

## お問い合わせ

日越大学 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトメールマガジン編集委員会

E-mail: [mail.magazine@vju.ac.vn](mailto:mail.magazine@vju.ac.vn)

【メール配信停止・変更】配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、日越大学 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトメールマガジン編集委員会までメールにてご連絡頂けますと幸いです。